

作成日 2025/04/15
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	エコトップ・エコトップ遮熱 共通A液
供給者の会社名称	東日本塗料株式会社
住所	東京都葛飾区堀切3丁目25番18号
担当部門	品質保証部
電話番号	0480-65-5880
FAX番号	0480-65-5798
緊急連絡電話番号	0480-65-5880
推奨用途	塗料
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康有害性	呼吸器感作性 区分1A
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

危険
H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
H401 水生生物に毒性

注意書き
安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を
避けること。(P261)
環境への放出を避けること。(P273)
呼吸用保護具を着用すること。(P284)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
(P342+P311)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の
廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

応急措置

廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区别

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ナトリウム=1, 4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1, 4-ジオキソブタン-2-スルホナート	1-4%	不明	(2)-1620,(2)-1623	既存	577-11-7
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.5-0.7%	O=C=N(CH ₂) ₆ N=C=O	(2)-2863	既存	822-06-0

4. 応急措置

吸入した場合	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすぐのこと。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
5. 火災時の措置 適切な消火剤	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。 情報なし 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 呼吸用保護具を着用すること。
使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性 特有の消火方法	
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	呼吸用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	技術的対策
安全取扱注意事項	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 呼吸用保護具を着用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

保管	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 換気の良い場所で保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		淡黄色透明
臭い		微臭
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		300°C以下
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限	データなし
引火点	上限	データなし 252°C (クリーブランド開放式)
自然発火点		430°C
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数		データなし
蒸気圧		1800Pa(20°C)
密度及び／又は相対密度		1.16
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		水・アルコール・アミンなどの活性水素化合物と反応し、発熱する。 水と反応して二酸化炭素を発生する。
化学的安定性		密閉状態で通常の温度、圧力の条件では安定である。
危険有害反応可能性		活性水素化合物(水、アルコール、アミン等)との反応による発熱。
避けるべき条件		加温、火気、活性水素化合物
混触危険物質		銅およびこれらの合金、アルミニウム、ポリ塩化ビニル
危険有害な分解生成物		窒素化合物
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。

	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 10×(区分1+1A+1B+1C)+区分2の成分合計が7%のため、区分3とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分3から区分に該当しないに変更。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 区分1Aの成分が0.7%のため、区分1Aとした。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 ※区分1は0.7%含まれる。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
	皮膚腐食性／皮膚刺激性	
	眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	
	呼吸器感作性 皮膚感作性	
	生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性	
	特定標的臓器毒性(単回 ばく露) 特定標的臓器毒性(反復 ばく露) 誤えん有害性	
12. 環境影響情報		
	水生環境有害性 短期 (急性)	(毒性乗率×10×区分1)+区分2の成分合計が100%のため、区分2とした。
	水生環境有害性 長期 (慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性	データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
	残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
	汚染容器及び包装	
14. 輸送上の注意		

国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	非該当 Not applicable applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制	非該当 毒物及び劇物取締法の規定に従う。 消防法の規定に従う。
	海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	非該当 非該当 該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条 の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛 則第34条の2別表第2) ヘキサメチレン=ジイソシアネート(安衛則別表 第2の番号:1860)(5%未満)(営業秘密)
労働安全衛生法(令和7 年施行分)		濃度基準値設定物質(安衛則第577条の2第2項、 令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日 公示第24号)
労働安全衛生法(令和8 年4月1日以降)		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条 第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30 条別表第2) ナトリウム=1, 4-ビス[(2-エチルヘキシル) オキシ]-1, 4-ジオキソブタン-2-スルホ ナート
労働安全衛生法(令和8 年施行分)		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条 の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛 則第34条の2別表第2) ナトリウム=1, 4-ビス[(2-エチルヘキシル) オキシ]-1, 4-ジオキソブタン-2-スルホ ナート(安衛則別表第2の番号:1445)(5%未満) (営業秘密)
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促 進法(PRTR法)		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条 の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛 則第34条の2別表第2) ヘキサメチレン=ジイソシアネート(安衛則別表 第2の番号:1860)(5%未満)(営業秘密)
化審法		非該当
消防法		非該当
外国為替及び外国貿易法		優先評価化学物質(法第2条第5項)
労働基準法		非危険物 輸出貿易管理令別表第1の16の項 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条 別表第1の2第4号1) 感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第 35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発 第182号)

16. その他の情報

連絡先
参考文献

その他

東日本塗料株式会社
溶剤便覧 製品評価技術基盤機構(NITE) メーカー
SDS

日本工業標準調査会「JISZ7253 GHSに基づく化学品
の危険有害性情報の伝達方法、作業場内の表示及
び安全データシート(SDS)」

日本工業標準調査会「JISZ7252 GHSに基づく化学品
の分類方法」

日本塗料工業会編集「容器イエローカード(ラベル方
式)塗料マニュアル 改訂版」

日本ケミカルデータベース製物質データベース

[注 意] 危険性・有害性の評価は必ずしも十分で
はありませんので、取扱には十分注意して下さい。

この製品の安全データシートの記載内容のうち含有
量、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。

記載内容は現時点入手できる資料、情報に基づい
て作成しておりますが、すべての化学品には未知の
有害性があり得る為、取扱いに当たっては細心の注
意が必要です。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものである
為、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安
全対策を実施の上ご使用下さい。

又それらが実際の使用状況に相応しているか、環境
保護の目的にそっているか、あるいは貴社の従業員
の方々や貴社製品購入者の健康・安全を損なわない
か等については、貴社の責任にてご判断願います。